

超高齢社会 を支える



～制度のあり方・地域のつながり～

65歳以上の人口が21%を超える超高齢社会を迎え、高齢者の医療・介護問題がますます深刻なものとなっています。団塊世代も高齢期を迎えはじめ、特に今後20年は、都市部を中心とした高齢者の急増が予想されています。膨大な介護サービスへの需要の対応とともに、人々が住み慣れた地域で今後も生活し続けるために、コミュニティのあり方や住宅等、ハード面での環境整備を地域社会という単位で考え直す時期にきています。今回の公開講演会では、医療・社会保障分野の専門家を招き、今後の日本の超高齢社会を支えるにあたり、どのような施策が必要とされているかについて、実現のための財源確保等の問題とあわせて講演していただきます。

「超高齢社会に向けての介護医療政策の展望」

辻 哲夫
(東京大学教授)

「経済学で考える介護・医療の将来」

鈴木 亘
(学習院大学教授)

2010年11月15日(月) 15:00～17:00

学士会館(202号室)「神保町」駅徒歩1分／「竹橋」駅徒歩5分(入場無料)

【お申し込み方法】

- 参加希望者全員のお名前(ふりがな)、ご住所を明記の上、Eメール、FAXまたは郵便はがきでお申し込みください。後日、入場整理券をお送りいたします。※個人情報は当講演会の開催以外の目的には使用いたしません。
- 定員：200名(お申し込み先着順)

【お申し込み・お問い合わせ先】

- 〒102-0073 東京都千代田区九段北2-3-7 前川九段ビル3階 公益財団法人 家計経済研究所 第44回公開講演会係
- TEL 03-3221-7291 ● FAX 03-3221-7255 ● Eメール info@kakeiken.or.jp ● URL <http://www.kakeiken.or.jp>

講師のご紹介

つじ てつ お
辻 哲夫 東京大学教授



1971年東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入省。老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房審議官(医療保険、健康政策担当)、官房長、保険局長、厚生労働事務次官を経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構教授。厚生労働省在任中に医療制度改革に携わった。

〔著書〕

『日本の医療制度改革がめざすもの』(時事通信社)など

すず き わたる
鈴木 巨 学習院大学教授

大阪大学大学院経済学研究科博士課程修了(経済学博士)。現在、学習院大学経済学部教授。専門は社会保障論、医療経済学、福祉経済学。年金、医療、介護、保育、生活保護、ホームレス問題など、社会保障・社会福祉分野の幅広い分野で、経済学のアプローチからの研究を行っている。

〔著書〕

『年金は本当にもらえるのか?』(ちくま新書)
『社会保障の「不都合な真実」』(日本経済新聞出版社)
『だまされないための年金・医療・介護入門』
(東洋経済新報社、第9回・日経BP・BizTech図書賞)
『生活保護の経済分析』
(東京大学出版会、第51回・日経・経済図書文化賞、共著)など



会場のご案内

学士会館(202号室)

東京都千代田区神田錦町3-28

地下鉄都営三田線・新宿線

東京メトロ半蔵門線

「神保町」駅 A9 出口から徒歩 1 分

東京メトロ東西線

「竹橋」駅 3a 出口から徒歩 5 分

